

第3回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：令和2年8月26日（水） 15時00分～

場 所：西部地域センター 2階 講座室1、2

出席者：18人

会長	山家 裕史	湖西市副市長
副会長	山本 信治	湖西市産業部長
座長	杉木 直	豊橋技術科学大学准教授
委員	諸井 宏司	遠州鉄道株式会社 運輸業務部長
委員	大久保 公雄	浜松バス株式会社 代表取締役社長
委員	榊原 正之	遠鉄タクシー株式会社 運行営業部長
委員	平野 隆広	天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役
委員	堀内 哲郎	(社)静岡県バス協会 専務理事
委員	江間 綾子	中部運輸局静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	田中 友親 (欠席)	遠州鉄道 労働組合 副執行委員長
委員	仲野 弘己 (代理：松林 花奈)	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	内海 孝久 (欠席)	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	馬淵 邦禎 (欠席)	静岡県湖西警察署 交通課長
委員	板倉 福男	湖西市自治会連合会 会長
委員	杉浦 徹衛	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	佐藤 幸夫	湖西市社会福祉協議会 会長
委員	土屋 守廣	湖西市 都市整備部長
事務局	北見 浩二	湖西市 産業部 産業振興課長
事務局	馬淵 豪	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係長
事務局	伊藤 明生	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係主任
事務局	小笠原 大悟	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係主任

資料 No.	配付資料タイトル
1	地域新 MaaS 創出推進事業パイロット地域の採択について
2	令和 3 年度コーちゃんバス事業者選定結果について
3	令和 3 年度デマンド型乗合タクシー運行事業者選定結果について
4	令和 2 年 10 月改正に向けた周知について
5	デマンド型乗合タクシー(知波田地区)の今後の方針について
6	令和 2 年度 湖西市地域公共交通会議 第 1 回補正予算 (案)
7	湖西市企業シャトル BaaS 事業における市町村運営有償運送について
8	新居地区における公共交通の在り方について

1 開会

2 会長挨拶

本日はお忙しい中、本会議にお集まりいただきましてありがとうございます。

湖西市では、さて、本日の報告事項にも入っておりますが、昨年度より進めておりました経済産業省の地域新MaaS創出推進事業の先進パイロット地域に昨年度より進めておりました「湖西市企業シャトルBaaS事業」を提案したところ、全国16地域の1つとして採択されました。

委員のみなさまには引き続き各方面からの知見等、お力添えをいただければと思います。

また、本日の議題には、知波田地区のデマンド型乗合タクシーの今後の方針や新居地区における公共交通の在り方など湖西市の公共交通をより良くする為に取り組む必要がある議題も予定されております。

より良い公共交通の実現に向けて、委員の皆様には是非とも忌憚のない御意見を頂戴できますと幸いです。

では、本日は、どうぞよろしく御願いたします。

3 報告事項

(1) 地域新MaaS創出推進事業パイロット地域の採択について

<事務局>

- 資料説明（資料1）

【質問なし】

(2) 令和3年度コーちゃんバス事業者選定結果について

<事務局>

- 資料説明（資料2）

【質問なし】

(3) 令和3年度デマンド型乗合タクシー運行事業者選定結果について

<事務局>

- 資料説明（資料3）

【質問なし】

(4) 令和2年10月改正に向けた周知について

<事務局>

- 資料説明（資料4）

<座長>

- 現時点で、広報や市ウェブサイト等で周知をしているとのことですが、市民の方の反応はどうか。

<事務局>

- コーちゃんバスについては、現在広報が各世帯に回覧されている途中であり、昨日では5件程度の問い合わせがありました。内容は、否定的なものではなく、コーちゃんバスにまた乗ってみようと思うが、ダイヤを教えてほしいなどがありました。
デマンド型乗合タクシーについても各地域協議会などでチラシの配付と併せて説明をしております。その中で否定的な意見は頂いておりません。

4 協議事項

(1) デマンド型乗合タクシー（知波田地区）の今後の方針について

<事務局>

- 資料説明（資料5）

<座長>

- 地域の協議会としては本格運行してほしいという要望に対して、実証実験期間を延長という方針ですが、これについて地域の協議会に話をしていますか。

<事務局>

- 本格運行の判断については、公共交通会議の協議事項として判断をさせていただき旨を伝えております。また、目標値などの条件をクリアすれば本格運行をするなど調整をしております。

<座長>

- コロナの状況次第にはなりますが、地域の方々に周知等にご協力いただけるようになっているということで良いでしょうか。

<事務局>

- そのとおりです。

<座長>

- 協議事項1「デマンド型乗合タクシー（知波田地区）の今後の方針について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

(2) 令和2年度 湖西市地域公共交通会議 第1回補正予算（案）

<事務局>

- 資料説明（資料6）

<座長>

- 変更点は、国からB a a S事業に関する歳入があり、それに伴い歳出にも計上されているということですのでよろしいでしょうか。

<事務局>

- そのとおりです。

<座長>

- 協議事項2「令和2年度 湖西市地域公共交通会議 第1回補正予算(案)」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

5 討議事項

(1) 湖西市企業シャトルB a a S事業における市町村運営有償運送について

<事務局>

- 資料説明(資料7)

<委員>

- 確認したい点が3点あります。1点目は、企業のシャトルバスを使用する場合に、従業員や企業への訪問者などと市民が混乗する形になり、市民は200円が必要、従業員等は無償になると思われます。その場合にどのように判別するのか教えてください。2点目は、イメージ図②の中に土日の利用を希望と記載してありますが、シャトルバスは土日も運行しており、コーちゃんバスは土日の運行がない。そのあたりはどのように調整していくのか決まっていれば教えてください。3点目は、事業計画の説明の中で実証実験は、新所原駅周辺が終わってから鷺津駅周辺という説明であったと思います。その場合に資料のバーチャートの記載が重複する時期があるように見えます。もし、同時にやるのであればバーチャートを合わせた方がよいと思いますし、時期をずらしている理由があるのであれば教えてください。

<事務局>

- 1点目は、具体的なところは企業と調整できておりませんが、有償運送になるため市民の方には回数券のようなものを配付し乗っていただくことになると思われます。取り扱いの内容については静岡運輸支局等と調整をしていきたいと考えております。
2点目は、ニーズの掘り起こしを行ったものになります。ご指摘のとおりコーちゃんバスは土日の運行はありませんが、今後、需要が見込まれれば検討していくことになると思われます。今回は実証実験のため、既存の形で行わせていただきたいと考えています。

3点目の実証実験の実施時期は、企業との調整により決まります。仮に同時期になっても実施できるように予算を組んでおります。バーチャートについては、11月から12月の間の1ヶ月間実証実験を行うイメージで作成しております。

<座長>

- 1点目については、私も分析の手伝いをさせていただく予定ですので補足をさせていただきます。実証実験では、スマホ等でどこからどこまで乗りたいと予約するようなモネ・テクノロジー(株)のシステムを使用する予定ですので、その中で決済方法について調整していくことになると思います。また、今回の実証実験で企業の方にどこまでご協力いただけるかにより変わります。従業員等と市民を混乗させるのか。または、従業員等に支障が出ないように完全に分けるのか。いずれにしても混乗の検証もしなくてはいけないので一部混乗は実証実験の中で必要になると思われませんが、今後、企業の方と調整をしていくことになると思います。

<委員>

- 私たちタクシーの協力できる部分は、このスキームではないと思いますが、良い事例であると思いますので、今後周辺で同様なことがあった場合の参考とさせていただきたいので法的な解釈の部分で2点教えてください。1点目は、自家用有償運送で事業主体が市になるということで、条件として公共交通空白地域ということになっていますが、時刻表をみると地域ではなく時間帯での空白となっており、そういった場合でも認められるということでしょうか。2点目は運行管理責任者について23ページで責任者は湖西市役所となっていますが、市の中に国家資格である運行管理責任者を置くのか、それとも車両を有する企業に置くのか決まっていれば教えてください。

<事務局>

- 1点目については、公共交通空白地域については空白時間など幅広い解釈でとらえることができると伺っています。空白時間という解釈で申請をしていきたいと考えています。2点目については、企業側で委託をしている場合や企業に有資格者がいる場合など、それぞれ企業ごとに異なるため、話を進めていく中で検討をしていきたいと考えています。

<座長>

- 代行者の扱いなどその他全般でもかまいませんので静岡運輸支局よりご意見をいただけませんか。

<委員>

- 市よりこれらについては事前に相談に来ていただいております。今後話が進んでいく中で詳細については調整していただければと思います。
- 運賃200円というのは決定ということで良いでしょうか。

<事務局>

- 運賃については、基本的にコミュニティバスと金額を統一するのが望ましいということで10月以降200円になりますのでそちらに合わせたいと思います。

<座長>

- 静岡運輸支局さまにお伺いしたいのですが、住民からは200円いただく、従来から乗っている従業員の方などは支払わずに乗る形になると思われませんが特に問題ありませんか。構造上、企業もしくは従業員等からもいただいている形式にしなくては行けませんか。

<委員>

- 企業の方から形式上いただく必要があるかなど、一度確認をさせていただきます。

<座長>

- 一部の人からとっていいか。これに乗るすべての人からとる必要があるかなど、またアドバイスをいただければと思います。

<委員>

- 運行経路について企業バスの走行ルートを守るのが前提なのか。それ以外のルートも自由に運行するのか教えてください。

<事務局>

- 現在調整中になりますが、企業バスの走行ルートを守るのが前提条件ではないと考えています。ニーズによって自由な経路とするかは実証実験のやり方となるので、自家用有償運送の仕組みの中でどこまで柔軟に対応できるのかモデルを構築していきたいと思いますので、静岡運輸支局等と相談しながら進めていきたいと思います。今回は実証実験ということでモニターを募って行いたいと考えており、不特定多数の方ではなく、事前に登録していただいた方に協力していただき、仕組みを構築し、2、3年実証実験を行い社会実装していきたいと考えております。

<座長>

- コーちゃんバスと併せて企業シャトルバスを走らせることでサービス内容の向上、需要を捕捉できるようにしていくという認識で良いですか。

<事務局>

- そのとおりです。

<委員>

- 企業バスの経路は、駅と会社の間限定されると思いますが、その間のコーちゃんバスのバス停はそのまま使用するのか、それは通過して企業に到着までノンストップなのかいかがでしょうか。

<事務局>

- まだ決定しておりませんが、モネ・テクノロジー㈱のアプリを使用し、必ずしもバス停での乗降ではなく仮想のバス停を設けて自宅近くで乗りあう形が実験できないか検討しています。コーちゃんバスのバス停も乗り合いの場所になる可能性はあるが、柔軟な対応ができればと考えています。

<委員>

- 従業員の方は、タイムカード等があり、途中で止まることにより遅れが出ると不満の原因になるので事前に検討をしておいた方が良いでしょう。

<事務局>

- 基本的には企業側の時間が優先されるものと考えております。企業だけではなく従業員の方にも納得いただける仕組みづくりを検討しております。ただし、今までどおりというわけにはいかないので、各企業の許容範囲を見定めることも含めて実証実験を行っていきます。

<座長>

- 今回の調査の中で従業員の方にもモニターになっていただき意見をいただくことや混乗の可否等についても検証をしていく必要があります。満員になっている通勤の時間などの混乗はありえないと思うので、昼間の空いている時間帯で混乗できる方法を検討しなければいけないと考えています。

<会長>

- 企業シャトルバスの運行形態は企業ごとで異なるということですが、バスが企業の所有で運転手は委託している場合などは、企業との調整の他に委託先との調整も必要になると思います。その場合に実施主体が市で委託先が企業が委託している会社になるのか考え方を教えてください。

<事務局>

- 企業が委託している先との調整は、企業との合意形成ができた後に必要になると考えています。簡単な意見交換レベルでは一部行わせていただいております。

<座長>

- 先ほど話があった先進的な企業シャトルバスに住民が混乗するような仕組みの先にある本来のMaaS的な考え方としては、コミュニティバスに限らずタクシーや鉄道など総合的な公共交通が一体化されたものを市民が利用できるのが将来的な姿になると考えられます。よって各運行事業者の方も注視していただき様々な角度からご意見をいただくことで将来的なビジョンも見えてくるのではないかと思いますのでよろしくをお願いします。

<事務局>

- 貴重なご意見ありがとうございました。今後についてですが、申請書類の提出にあたり公共交通会議の承認をいただく必要がありますが、日程的に会議を開催することが難しいと思いますので、書面にて開催させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<事務局>

- ありがとうございます。引き続きよろしくお願いたします。

(2) 新居地区における公共交通の在り方について

<事務局>

- 資料説明 (資料8)

<委員>

- 現状でも不便だという声を聞いていますので、デマンドを拡大していただければ利便性も高まると思います。大倉戸や松山地区が増えたと思いますが、新弁天地区も世帯数は少ないがいますのでそちらについても対応を検討していただけるとありがたいです。

<事務局>

- 検討させていただきます。

<委員>

- 世帯の少ない地区であっても公共交通は必要なものですので、デマンドの整備をするなどの対応をしていただければと思います。

<委員>

- 効率化が焦点になっていますが、市民の方の利便性を向上させるには効率化も必要なことであると思いますので事務局案で進めていくのも良いと思います。

<委員>

- デマンドタクシーの利点はバス停まで行かなくても自宅前で乗降できる点で、現在デマンドの運行を行っておりますが、利用者の方からも慣れれば使い勝手の良いものだという意見もいただいておりますので、新居地区への拡大は良いことだと考えます。

<座長>

- 概ね提示いただいた案で了解を得られていると思いますので、引き続き検討を進めていただければと思います。

<事務局>

- 貴重なご意見ありがとうございました。引き続き地域の方等と意見を交わして検討を進めていきたいと思っております。

6 閉会

<事務局>

- 以上をもって、令和2年度第3回湖西市地域公共交通会議を終了とします。

以上